



バッドンタ・ウ・ケサラ大長老
 “アビダジャマハーラッタグル”
 「正法によって国を導く偉大な師」
 ミャンマー政府より勳章授与
 ミャンマーサンガ団体の元副長
 ラインサーヤ マハーアウンミエ僧院僧院長



日本上座仏教修道会

祝 日本
 上座仏教修道会発足
 通信誌創刊



30周年記念
 No.100号記念



バッドンタ・ウ・ニャースッタラ大長老
 “アッガマハーサダンマジョーティカダジャ”
 「正法の光を世界に輝かせる最上の偉大な智慧者」
 ミャンマー政府より勳章授与
 ラインサーヤ マハーアウンミエ僧院副僧院長
 日本上座仏教修道会大長老

Sāsana Sirī Dhara Sīmā

お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇

浄心庵シーマー（戒壇）建物・シェーダゴンパゴダ形仏塔建立 大プロジェクト

日本上座仏教修道会は、仏暦 2561 年(西暦 2017 年、平成 29 年)11 月 3 日(金) 満月のウポサタの日、浄心庵精舎において、三宝の大恩師であるバッドンタ ケサラ大長老とバッドンタ ニャースッタラ大長老を導師として、総勢 20 名の比丘サンガの戒・定・慧の威力によって「シーマー（戒壇）認定儀式」を厳粛に執り行いました。輪廻の中でも稀に見る歴史的な儀式となりました。

仏暦 2562 年(西暦 2018 年、平成 30 年)11 月 24 日(土)、浄心庵シーマー（戒壇）において、バッドンタ ニャースッタラ大長老を導師として、5 名の比丘サンガによって「浄心庵シーマー（戒壇）建物・シェーダゴンパゴダ形仏塔建立、吉祥なる定礎儀式」を荘厳に執り行いました。

昨年、仏暦 2563 年(西暦 2019 年、令和元年)からプロジェクトを実現させるべく建築準備に取り掛かっておりました。

今年、令和 2 年(西暦 2020 年)、ようやく建築時期に入りました。ニャースッタラ大長老のご指導の下、特別プロジェクトチームメンバーは、シーマー（戒壇）として認定された特別な土地の上に、「シーマー（戒壇）・仏塔建立」大プロジェクトの実現に向けて全力で取り組んで参ります。

シーマー（戒壇）

「シーマー」とは、パーリ言葉で、「戒壇（授具足戒の場）」と日本語で訳されています。

比丘サンガが戒律の確認を行う聖なる特別な場所のことです。このシーマー（戒壇）が在れば、お釈迦さまの教えを伝える比丘サンガのための比丘出家儀式、新月・満月のウポサタの日に戒清浄になるための戒律の儀式、「カティナ・シーワラ」という特別な衣の儀式など、戒律に関する儀式を行うことができます。これらの儀式のために、このシーマー（戒壇）は必要とされます。

このように「シーマー（戒壇）」とは、比丘サンガが存在するために最も重要な場所であり、特別な聖地なのです。比丘サンガが存在すれば、お釈迦さまの教えを伝えることができます。

三宝、比丘サンガが存在するための「シーマー（戒壇）」についての功德は、輪廻解脱、涅槃に至るまで善い結果をもたらします。

仏塔建立 について

「仏塔」とは、お釈迦さまの仏舍利やお釈迦さまに関係がある物を奉安するとともに大切な「塔」です。浄心庵シーマー（戒壇）の土地の上に、平面 10.5×19m の 2 階建と屋上を建設いたします。1 階は、比丘サンガの居室、瞑想者宿泊施設、多目的ホールとして、2 階は、瞑想堂として浄心庵仏像が奉安され、その後部スペースには、三宝をはじめ上座仏教に関する博物館が設けられます。屋上は、中心部にミャンマー式シェーダゴンパゴダ形仏塔を大切に安置します。北側中央部は、日本式仏塔として三重塔を安置する予定です。この 2 つの仏塔は、ミャンマーと日本両国の仏教友好交流を深め合い、両国の幸福と世界平和への礎として、日本の地に純粋なお釈迦さまの教えが広く永く存在するための願いに由るものです。

このような比丘サンガの戒・定・慧のエネルギーによって、特別な土地となったシーマー（戒壇）の上に仏塔を建てる機会を得ることは、日本では極めて稀なことであり、大変幸福なことです。

この建物は、お釈迦さま、お釈迦さまの説かれた教え、そしてお釈迦さまの弟子である比丘サンガに関係がある特別な「シーマー（戒壇）・仏塔」なので、特別な功德、波羅蜜を積むことができます。

今世、今現在も、来世、未来までも、必ず善い結果をもたらします。そして純粋なお釈迦さまの教えが永く存在することができます。

この建物の中で、お釈迦さまの教えを修道する見習出家、比丘出家、正学女、尼僧、男性瞑想者、女性瞑想者たちは、輪廻解脱、涅槃へ至る八正道（戒・定・慧）を実践することができます。

ですから、この特別な「シーマー（戒壇）・仏塔建立」は、大変得難く特別な功德、波羅蜜なのです。

「シーマー（戒壇）・仏塔建立」のための特別な功德としてお布施を希望される方は、当会のホームページのトップページ 浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」お布施のご案内をご参照ください。

Vihāra dānaṃ saṅghassa aggaṃ buddhena vaṇṇitaṃ

お釈迦さまの教えを伝える土地・建物を比丘サンガを目指して布施することは、最も高貴な功德として ブツによって称賛されました



9. တိုကျို-ကွန်မြူနီတီ ကောလိပ်
လူမှုရေး ကျင့်ဝတ်များ ဆွေးနွေးပွဲ

11 November 2017

日本上座仏教修道会

9. 11月第二土曜日
東京コミュニティカレッジにおいて
法の相談会
(法について質疑応答)
仏暦 2561年 平成 29年
11月11日(土)

ケサラ大長老をはじめ 10名のミャンマー比丘サンガご来庵
～比丘サンガ 40日間のご活動 (14の儀式)～ 第9回

◎比丘サンガ 10名 東京でのご説法のため
浄心庵精舎から東京新宿本部へ



2017年11月10日(金)午後1時、11名の比丘サンガの皆様は、翌日から行われる東京でのご説法のため、浄心庵精舎を出発し、東京へ赴きました。

バツダンタ・ケサラ大長老とお付きの比丘様2名は当会の送迎車で、バツダンタ・ニャーヌッタラ大長老と比丘サンガ9名は電車と高速バスで、二手に別れて、東京新宿本部に集合しました。

～ 東京駅到着 ～



ニャーヌッタラ大長老は、毎月2回、日本人と在日ミャンマー人のご説法と瞑想指導のために、浄心庵精舎から東京へ赴かれています。20年以上、通い続けられている道をお弟子様たちにご案内しながら、大長老をご先導に東京新宿本部へ向かいました。



午後6時30分、東京新宿本部において、11名の比丘サンガの皆様はご無事に到着し、全員がそろいました。

◎11月第二土曜日 東京コミュニティカレッジにおいて
法の相談会（法について質疑応答）
～ 大長老方のご説法 ～



2017年11月11日（土）午後1時、新宿の東京コミュニティカレッジにおいて、バッドンタ・ウ・ケサラ大長老 90歳（写真中央）、バッドンタ・ウ・ワーヤーマウダ大長老 85歳（写真右）、バッドンタ・ウ・ニャヌッタラ大長老 63歳（写真左）の3名の比丘様のご説法と法の相談会が開催されました。ニャヌッタラ大長老がミャンマー語から日本語へのご通訳をされました。

ケサラ大長老からは、「二つの大事なこと」についてご説法をいただきました。

ワーヤーマウダ大長老からは、「四つを忘れないで暮らすこと」についてご説法をいただきました。

その後、法の相談会が開かれ、シーマーの意味、捨（ウベッカー）、十二縁起などの質問から、智慧にあふれた深い教え戒めを賜りました。教え戒めを賜るたびに、サードゥと3回唱えて喜びました。

二つの大事なこと

バッドンタ・ウ・ケサラ大長老（90歳）

人間として生まれたら、真理を探してください。

そして積むべき徳を積んでください。人間に生まれたら真理を探すのが正しいです。真理を探さなければ無明が増大します。真理を探するとき智慧が増大します。真理を探するとき、お釈迦さまの教えを勉強するのが一番大切です。次に、真理を探したあとは、何をすることが大切なことか考えてください。

何をすることが幸せか研究すると、自分が積んだ徳が頼れるものですから、積むべき徳を積んでください。徳とは、今世も幸せ、来世も幸せ。人間の頼るものはこの善行という徳しかない。このエネルギーで今世も楽、来世も楽、涅槃に至るまで役に立ちます。皆さんできる限り徳を積んでください。

Sādhu Sādhu Sādhu

四つを忘れないで暮らすこと

バッドンタ・ウ・ワーヤーマウダ大長老（85歳）

人間に生まれたら1. 悪い人と付き合わない。2. 善人と付き合う。3. いつでも自分の心を淨らかにして積むべき徳を積んでください。4. 自分の生きている身体について、無常・苦・無我を観察してください。

この四つを忘れないでください。今皆さんはこのように善人と一緒です。この四つを忘れないで暮らしたら、今世も楽、来世も楽です。

Sādhu Sādhu Sādhu



9. 11月第二土曜日 東京コミュニティカレッジにおいて 法の相談会 （法について質疑応答）

ニャヌッタラ大長老ご説法

11月11日（土）午後1時、バッドンタ・ウ・ケサラ大長老、バッドンタ・ウ・ワーヤーマウダ大長老、セヤードー（ニャヌッタラ大長老）は、東京コミュニティカレッジの理事たちにお会いしました。

理事たちは大長老たちの教え戒めを受け、法の相談会（法について質疑応答）を行いました。

法の相談会とは、パーリの言葉では、ダンマサーケッチャー（Dhamma Sākacchā）、日本語では、法についての相談、会話、話し合いという意味があります。

機会があるたびに、正しい法、真理について話し合うことは、正しい真理がわかる智慧を得るために大切なことです。正しい真理がわかる賢者に近づき、質疑応答をする機会が多いほど、真理・真実を理解する智慧を得ることができ、善い結果をもたらします。

正しい法、真理について、説法を聴くこと、話し合うということは最高の吉祥です。

正しい法についての相談会とは次の六つがあります。

六つの法についての相談

1. 生命存在の真理について
2. 三宝（仏・法・僧）について
3. 業（カルマ）とその結果について
4. 過去・今世・未来について
5. 輪廻と解脱涅槃について
6. 解脱のための道であるサマタ瞑想・ヴィパッサナー瞑想について

このように、折に触れ、法について話し合うことは最高の吉祥です。

Sādhu Sādhu Sādhu

◎当会に「法の相談会」が開催された由来



ニャーヌッタラ大長老は、上座仏教修道会の創立者竹田倫子先生が、生前、東京都新宿区東京コミュニティカレッジの副理事を務められていた当時、2001年3月10日（土）から現在に至るまで、毎月第二土曜日に、東京コミュニティカレッジの講師として招かれ、特別研究会「心の真実と生き方を探る、生命存在の真理を学ぶ」をテーマに、四聖諦をはじめ、十二縁起、ダンマパダなど、仏教と実践法をお説きくださっています。

心理、医学、教育などの大学の先生方が集まり、「心・生命・人生」などについてニャーヌッタラ大長老ご指導のもと年10回の研究会を開催しています。

ミャンマーの高僧が来日された時には、故竹田先生が中心となり、法の相談会（ダンマ サーケッチャー）が行われ、東京コミュニティカレッジの方々も参加されました。

～ 1996年 仏教再伝 - 現代に生きる仏教 ～



1996年8月11日、新宿三省堂ホールにおいて、初めて当会主催の「仏教再伝 - 現代に生きる仏教」と題したパネルディスカッションが開催されました。

比丘サンガを代表するケサラ大長老とニャーヌッタラ大長老をはじめ8名の比丘サンガ、そしてチベット高僧、日本仏教僧、学者などをお招きし、約130名が参加されました。東京コミュニティカレッジの方々も参加されました。

それぞれ高僧の方々にご説法を賜わり、その後、法についての意見が交わされ、法の相談会が行われました。

～ 1998年 仏教再伝 - 現代に生きる仏教2 ～



1998年12月28日、東京コミュニティカレッジにおいて、「仏教再伝 - 現代に生きる仏教第2回」が開催されました。

～ 2000年 東大仏青会釈尊会の記念会 ～



2000年5月21日、東大仏青会釈尊会の記念会(アジア仏教の集い) といったこれらの大きな催しを経た後、2001年3月10日から現在に至るまで、大長老は、東京コミュニティカレッジの講師として、仏教の方面から、「心・生命・人生」などについてご指導され、「法の相談会」が続けられています。

◎新宿本部近隣の東京都庁ご案内



2017年11月11日（土）夕方5時、比丘サンガの皆様を新宿本部近隣の東京都庁へご案内しました。

比丘サンガの皆様は、三宝の師であるケサラ大長老の後に真っ直ぐと連なり、列をなして歩かれました。

戒・定・慧を具えられた品格ある比丘サンガのお姿は、周りの国内外の観光者や道行く人を圧倒し、人々は振り向き尊敬合掌され、写真を撮られました。

◎H.E.U Khin Maung Tin 大臣ご来賓



2017年11月11日（土）夜9時30分、新宿本部において、新浄心庵シーマー(戒壇)が認定された翌日に仮比丘出家儀式を行われた H.E.U Khin Maung Tin 大臣ご家族3名が、日本でのすべての所用を済ませられ、ご帰国前夜に、ニャーヌッタラ大長老をはじめ比丘サンガに感謝の意とともに尊敬合掌礼拝するためにご来賓されました。比丘サンガのご祝福を受けられたご家族は、随喜してご帰国されました。

※「比丘サンガ40日間のご活動(14の儀式)」についての報告は次号に引き続き掲載いたします。(次号へ続く)